



7月 ほけんだより

みなみひの保育園

平成30年7月3日

梅雨明けを予感させるような暑い日が続いています。本格的な夏もすぐそこです。子どもたちにとっては、プール遊び、水遊びができる大好きな夏。健康に気を付けて、たくさん遊べる夏にしたいですね。



プール前チェック!

- 熱はありませんか?
(前日の発熱もプールは控えましょう)
- 感染症は治っていますか?
- 食欲はありますか?
- 朝ごはんは食べましたか?
- おなかの具合は大丈夫ですか?
- 前日、よく眠れましたか?
- 目やにや充血はありませんか?
- 咳、鼻水は多くないですか?
- 耳の痛みはないですか?
- 皮膚に異常はないですか?

以上、健康状態をチェックしたら、プールカードを忘れずに!

※プールカードが○でも、プール直前の健康状態で入るのをやめることもあります。

アデノウイルス

主に風邪症状を引き起こすウイルスです。飛沫(つばや鼻水、目やに)や便、接触などから感染します。幼児の間で流行することの多いウイルスです。

- ・プール熱(咽頭結膜炎)
- ・流行性角結膜炎

の原因になることでも知られています。

プールを介した感染もあります。熱が下がっても、プールに入ってよいか、医師に確認しましょう。

※登園証が必要です。

とびひ

アトピーやあせも、虫刺され、すり傷などを手で触ったりかいたりすると、皮膚の表面に複数の細菌が付着して繁殖し、皮膚がただれたり、水ぶくれになったり、かさぶたになったりします。なかでも黄色ブドウ球菌は高温多湿を好むため、夏になると流行します。



患部を触った手で体の他の場所に触れると、感染がさらに広がります。ガーゼなどで覆って、患部に直接触れないようにしましょう。状態がひどい場合は医療機関に相談し、内服の抗生物質を処方してもらいます。子どもの間で感染しやすいので、家庭でもタオルの共有や、兄弟との入浴は控えましょう。虫刺されやすり傷などは放置せず、しっかりと消毒をして清潔にし、とびひにならないように注意が必要です。汗をかいたらこまめに着替え、爪は短く切り、毎日シャワーを浴びて体を清潔に保つことが一番の予防法となります。

